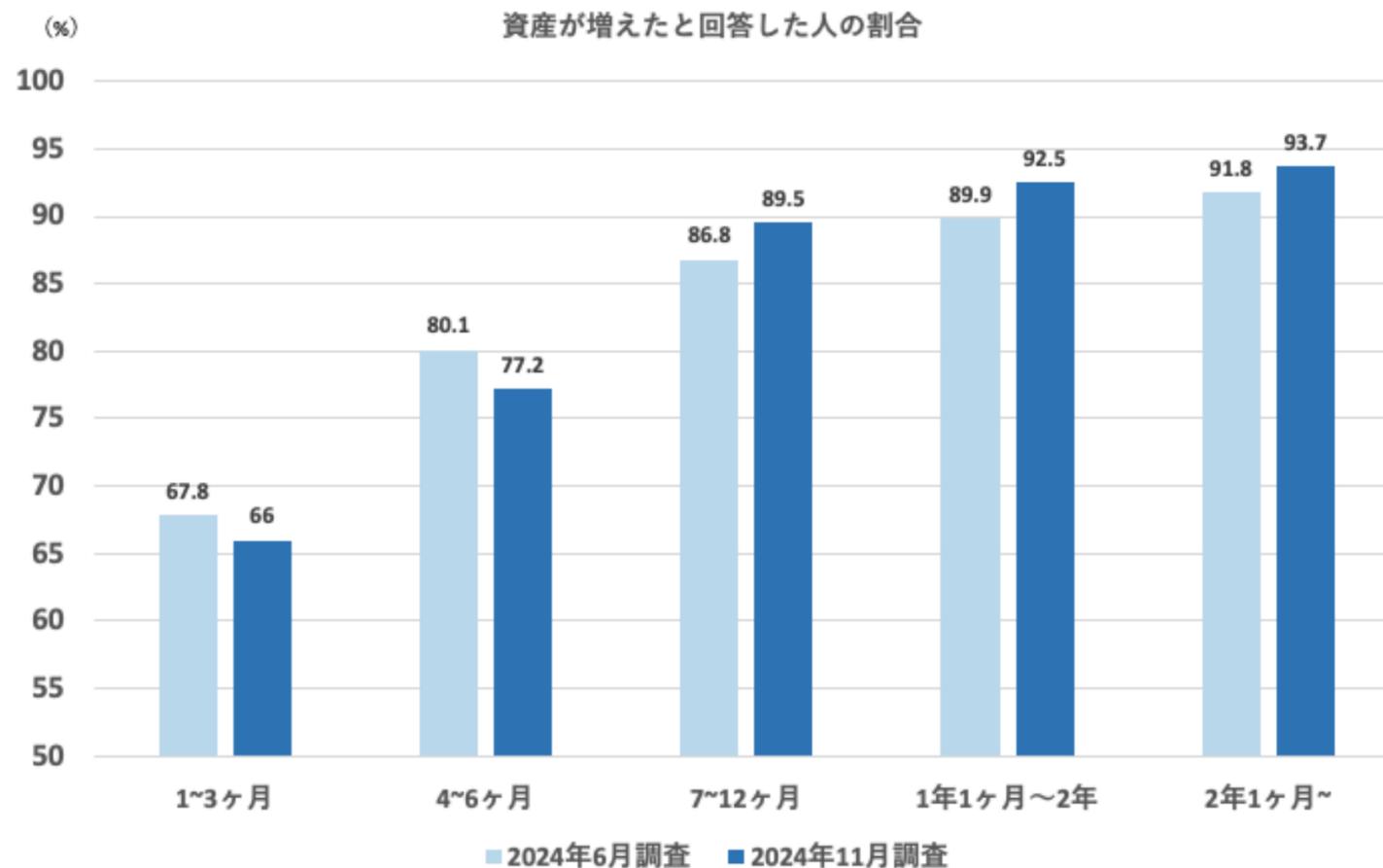


01

リベシティに入会してから資産が増えたかどうか

全回答者では、**86.2%**が「資産が増えた」と回答 ※前回は82.9%

◆ 継続期間別のグラフ



- ✓ 純粹に数字だけで捉えると、
 - ・ 前回調査よりも、資産アップを実感するまでに若干時間がかかるようになった（半年までで資産アップする人の割合は減少）
 - ・ **半年継続すれば、約9割は資産アップを実感する**（長期的に頑張れば成果が出やすい環境になっている）

<参考調査：令和5年の家計の金融行動に関する世論調査>

1年前と比較して、

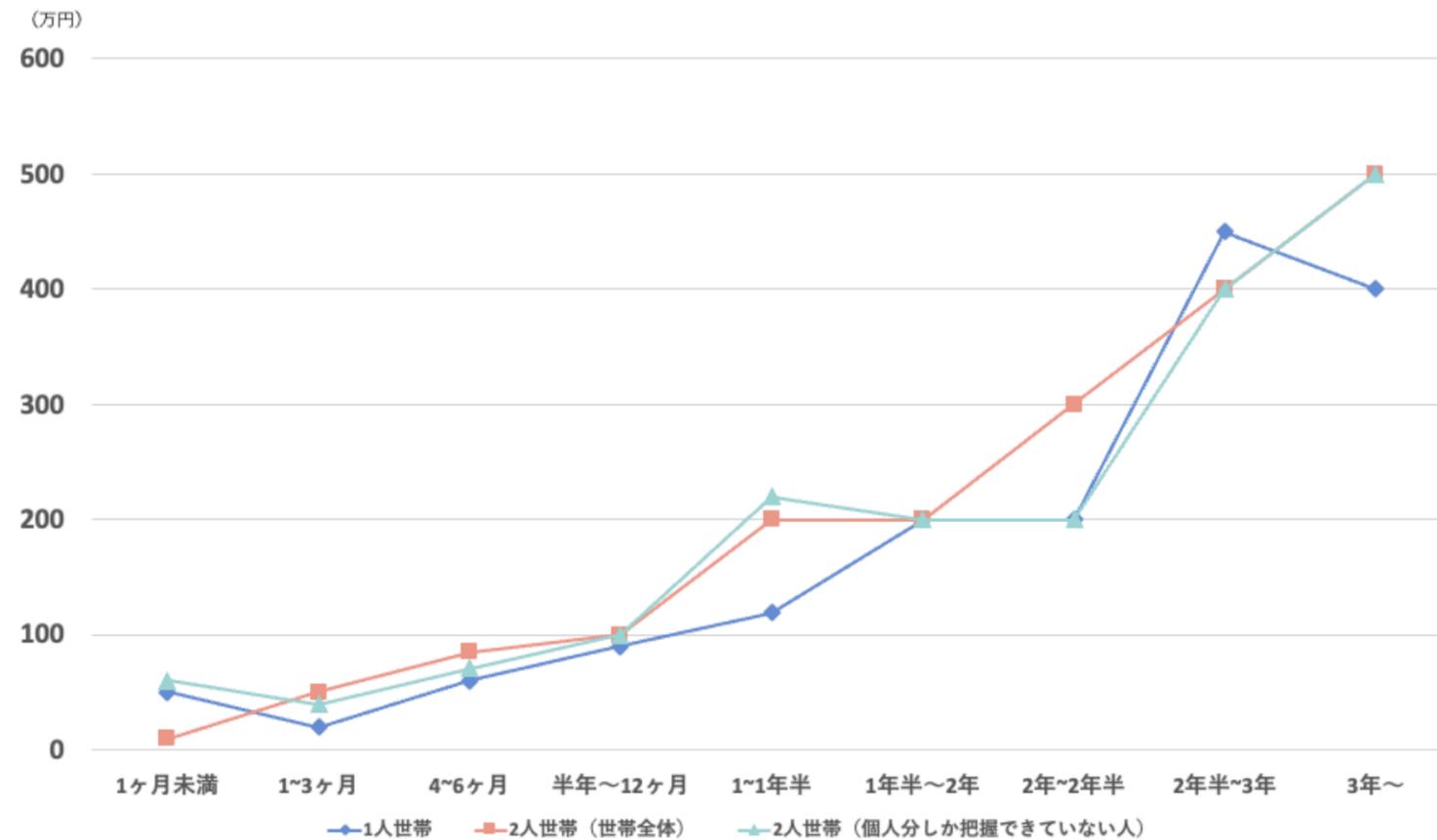
- ・ 単身世帯で39.6%が資産が増えた
- ・ 二人以上世帯で37.0%が資産が増えた

→計測期間が異なるが、少なくとも1年継続している人の約90%が資産アップを実感していることから、参考調査よりも多い数字と判断

02

リベシティに入会してから、どのくらい資産が増えている？

- 「リベシティの情報が資産アップに影響しているか」をヒアリングし、「**強く影響している**」と回答した方のみで増加した資産を調査
- 継続期間に分けて、**世帯別で中央値を算出**



✓ 全体的に2人以上世帯で資産の増加額は多い（見直し箇所や収入も多くなる傾向があるので）

✓ 利用1ヶ月未満でも、リベシティの情報をうまく活用することで、1人世帯で中央値5万円、2人以上世帯で中央値15万円の資産が増加していた

✓ リベシティ活用して半年~1年継続していると、
・1人世帯で90万円
・2人以上世帯で100万円
は中央値でも資産アップを実感。

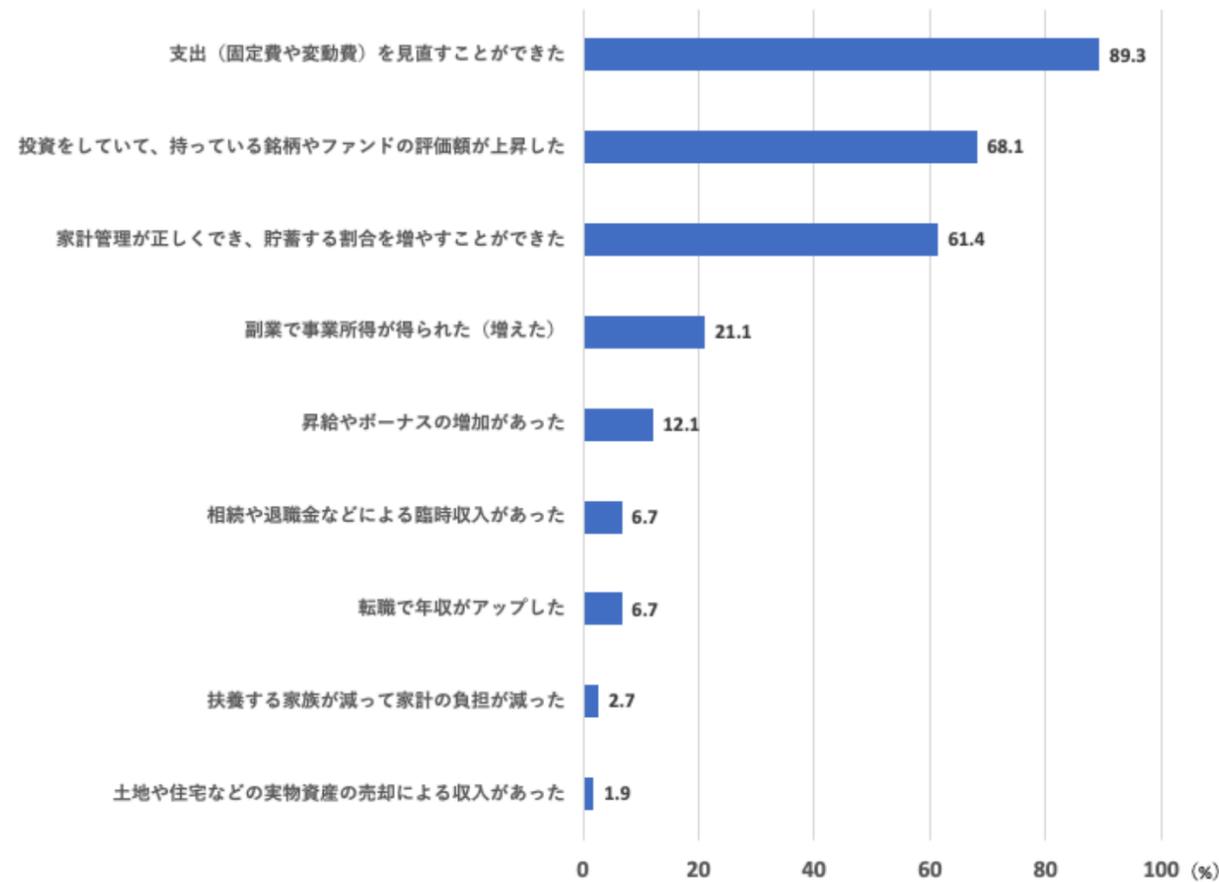
→1年前は家計管理強化で入会した人が多く、リベシティで実践していくことで100万円前後の資産アップを実感している人が多い

03

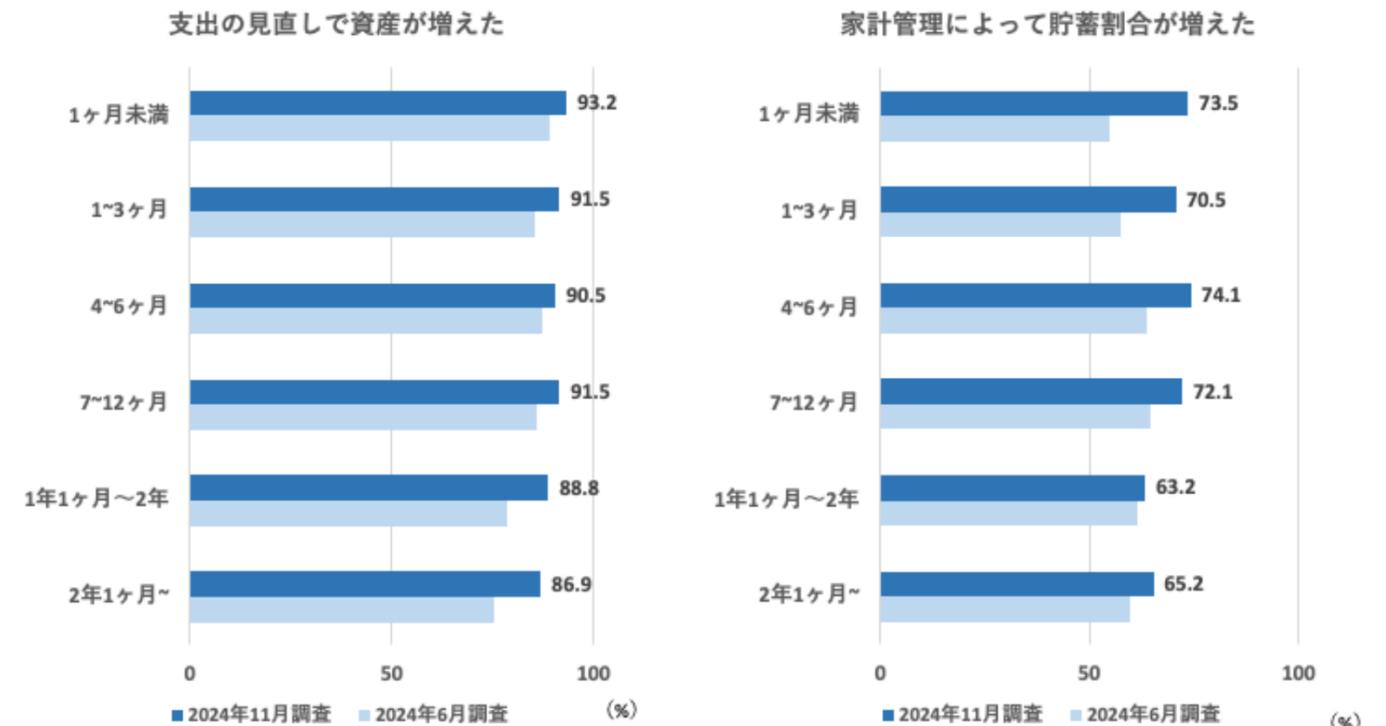
何で資産アップを実感している？

● 「リベシティ入会時と比較して資産が増えた」と回答した人に、増えた要因をヒアリング

◆ 全体の結果



◆ 家計管理項目に限定して、前回調査と比較（継続期間別）



< 参考値（令和5年家計の金融行動に関する調査） >

- ◆ 貯蓄する割合を引き上げたから：単身世帯で18.8%、二人以上世帯で21.6%
- ◆ 保有銘柄やファンドの評価額が増加したから：単身世帯で42.3%、二人以上世帯で37.3%

→リベシティ会員は、貯蓄割合アップが61.4%、保有銘柄・ファンドの評価額アップが68.1%で、**いずれも世論調査より高い値に（実践している人が多いことに）**

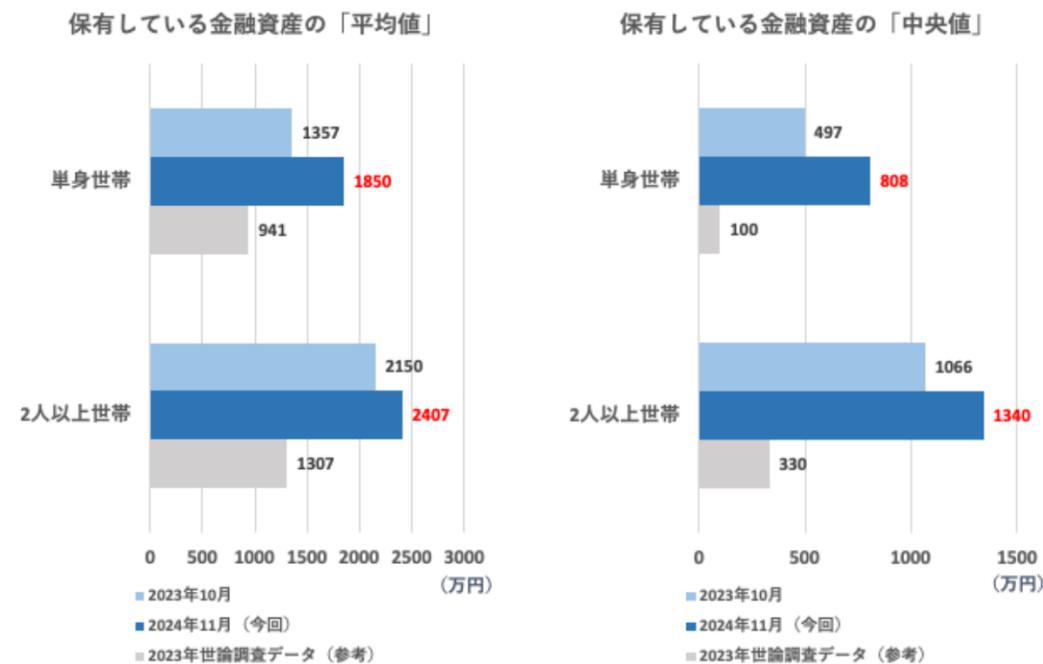
✓ 前回調査と比較すると、どの会員期間の人でも「支出の見直し」「貯蓄割合を増やせた」の数値の改善があった
→宿題リストのリニューアルで、貯める力の項目でもより成果につながっていることを示すデータに

04

保有している金融資産の前年比較と、参考調査比較

● 金融資産：「預貯金（生活に使っている分は除く）」「有価証券や債券・投資信託」「貯蓄型保険」「その他でヒアリング」

◆ 会員全体の結果



◆ 世帯別の種別内訳

単位：万円		預貯金	有価証券 債券・投資信託	保険（貯蓄 型）	その他
単身	2023年世論調査（平均値）	408	372	129	31
	2023年リベシティ内調査（平均値）	563	697	55	42
	2024年リベシティ内調査（平均値）	530	1222	54	44
	2024年リベシティ内調査（中央値）	51	450	0	0
2人以上	2023年世論調査（平均値）	563	427	257	59
	2023年リベシティ内調査（平均値）	916	1012	135	87
	2024年リベシティ内調査（平均値）	756	1456	114	79
	2024年リベシティ内調査（中央値）	240	700	0	0

- 全体の平均値、中央値ともに、昨年よりも金融資産は多く、令和5年の世論調査と比較しても多い。
※世論調査は年代の構成比が異なるため、あくまで参考に（20代と60代がリベの調査では少ない）
- 種別で見ると、世論調査と比較してリベシティ会員は特に「有価証券や債券・投資信託」が多く、「保険」は少ない。
- また、あくまで全体傾向とはなるが、2023年意識調査と比較すると「預貯金」が減少して、「有価証券や債券・投資信託」が増えている。
（投資に回せている会員が増えている？）

05

保有している金融資産の世帯別、および年代別比較

- 金融資産：「預貯金（生活に使っている分は除く）」「有価証券や債券・投資信託」「貯蓄型保険」「その他でヒアリング」
 ※世帯主の年代ではなく、回答者の年代となっているので、その点だけ注意（次回調査では改善予定）

単位：万円 平均値（中央値）で記載	年代	預貯金	有価証券 債券 投資信託	貯蓄型保険	その他	金融資産 合計
単身世帯	20代	92 (0)	346150)	3 (0)	9 (0)	450 (176)
	30代	255 (16)	914 (400)	18 (0)	30 (0)	1217 (616)
	40代	598 (146)	1287 (600)	24 (0)	55 (0)	1964 (1046)
	50代	1088 (496)	2064 (800)	142 (0)	63 (0)	3357 (1746)
	60代	1195 (846)	2084 (700)	391 (0)	106 (0)	3776 (2696)
2人以上世帯 ※回答者の年代	20代	250 (0)	529 (310)	6 (0)	9 (0)	794 (480)
	30代	484 (140)	1122 (700)	40 (0)	45 (0)	1691 (1090)
	40代	738 (290)	1528 (800)	106 (0)	83 (0)	2455 (1500)
	50代	1146 (640)	1844 (700)	244 (0)	127 (0)	3361 (1940)
	60代	2195 (1140)	3065 (1500)	339 (0)	200 (0)	5799 (3640)

- ✓ 種別で見ると、預貯金や有価証券は、年代が上がるほど保有額が増える
- ✓ 「貯蓄型保険」は、単身世帯は50代以上で、2人以上世帯は40代以上で平均値が増える（保有している人が多い）

06

世帯収入の年代別比較

- 収入：「給与所得（額面上）」「事業所得」「不動産所得」「配当・利子所得」
- 今回の調査では世帯収入をヒアリング。（前回調査と比較できない）

単位：万円		給与	事業	不動産	配当利子
平均値（中央値）で記載					
単身世帯（女性）	20代	357 (360)	25 (0)	1 (0)	2 (0)
	30代	373 (400)	48 (0)	2 (0)	7 (0)
	40代	419 (400)	32 (0)	3 (0)	14 (1)
	50代	364 (320)	48 (0)	32 (0)	23 (1)
	60代	230 (200)	21 (0)	13 (0)	34 (3)
単身世帯（男性）	20代	355 (400)	33 (0)	3 (0)	5 (1)
	30代	417 (420)	76 (0)	6 (0)	16 (2)
	40代	435 (445)	85 (0)	10 (0)	20 (3)
	50代	468 (455)	59 (0)	28 (0)	49 (10)
	60代	260 (165)	3 (0)	3 (0)	40 (10)
2人以上世帯	20代	585 (600)	22 (0)	2 (0)	5 (0)
	30代	664 (650)	72 (0)	12 (0)	10 (1)
	40代	747 (700)	84 (0)	17 (0)	21 (1)
	50代	741 (700)	79 (0)	21 (0)	22 (2)
	60代	417 (350)	48 (0)	24 (0)	39 (10)

- ✓ 年代があがるごとに収入は増える傾向はある

ただし、

- ・ 40代～50代はそれほど変わらないか、40代でピークになっているところもある
- ・ 60代以降は退職する影響もあり、収入が落ちる

- ✓ 配当利子所得は、中央値だと年間で10万円を超えることがなく、資産データから「投資信託や有価証券・債券」の保有額が大きかったため、多くの方はNISAなど長期積立がメインで、配当金を受け取る投資をしている人はそれほど多くないことがわかる

- ✓ ちなみに左記のような調査と一緒に切り口での、世帯収入の参考データはない。

<性別ごとの中央値の参考データ（世帯状況関係なく）>

◆ 女性中央値：25～29歳で300万円、30～34歳で291万円、35～39歳で286万円、40～44歳で288万円、45～49歳で298万円、50～54歳で292万円、55～59歳で283万円

◆ 男性中央値：25～29歳で361万円、30～34歳で417万円、35～39歳で472万円、40～44歳で518万円、45～49歳で553万円、50～54歳で588万円、55～59歳で604万円

→女性の収入は世帯別で大きく変わるはずだが、リベシティ会員の収入データが、統計調査と比べて高い結果ではない

（※資産のデータも含めて考えると、収入は世間一般と同じくらいだが、金融資産は多いという状況）

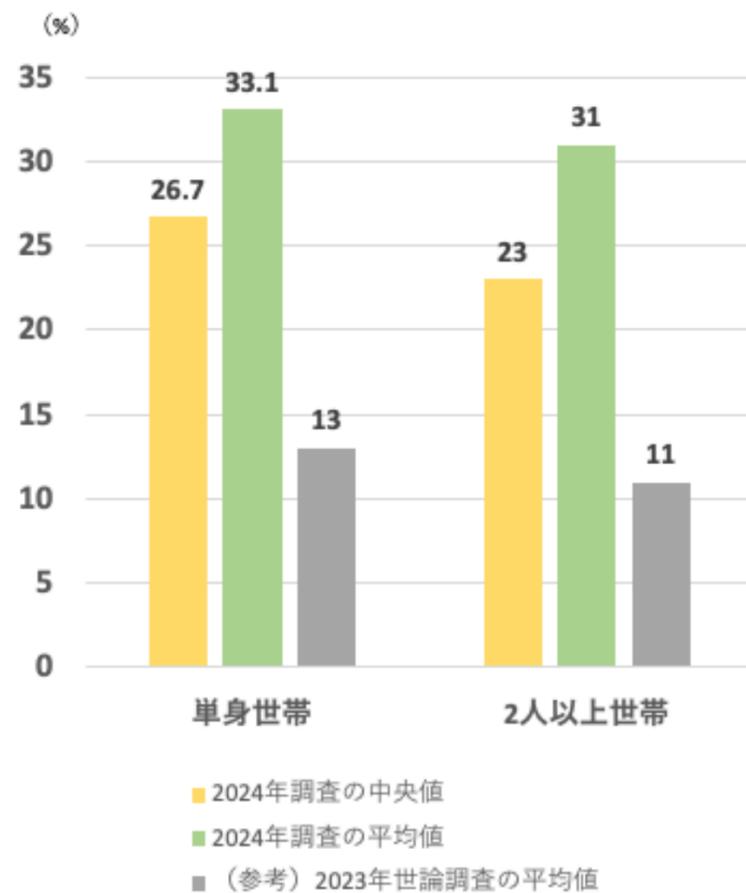
07

貯蓄率データ

●計算式：「1年間の手取り収入のうち、貯蓄や投資に回せた金額 / 1年間の手取り収入 × 100」

※貯蓄をした金額を収入より多く回答している人は、収入分は全て回せたと判断してMax値100%として対応

◆ 会員全体の結果（黄色が中央値、緑が平均値）



- **貯蓄率は中央値で20%を超えていて**、単身世帯では26.7%、2人以上世帯では23%

→宿題リストに沿って家計管理や固定費見直しを実践することで、リベシティ会員全体として貯蓄率が高い結果となった。
(参考値の世論調査と比較しても、倍以上の貯蓄率に)

- 補足データとして、**単身世帯で貯蓄率20%以上を超えていたのが60%、2人以上世帯で貯蓄率20%以上を超えていたのが57%**

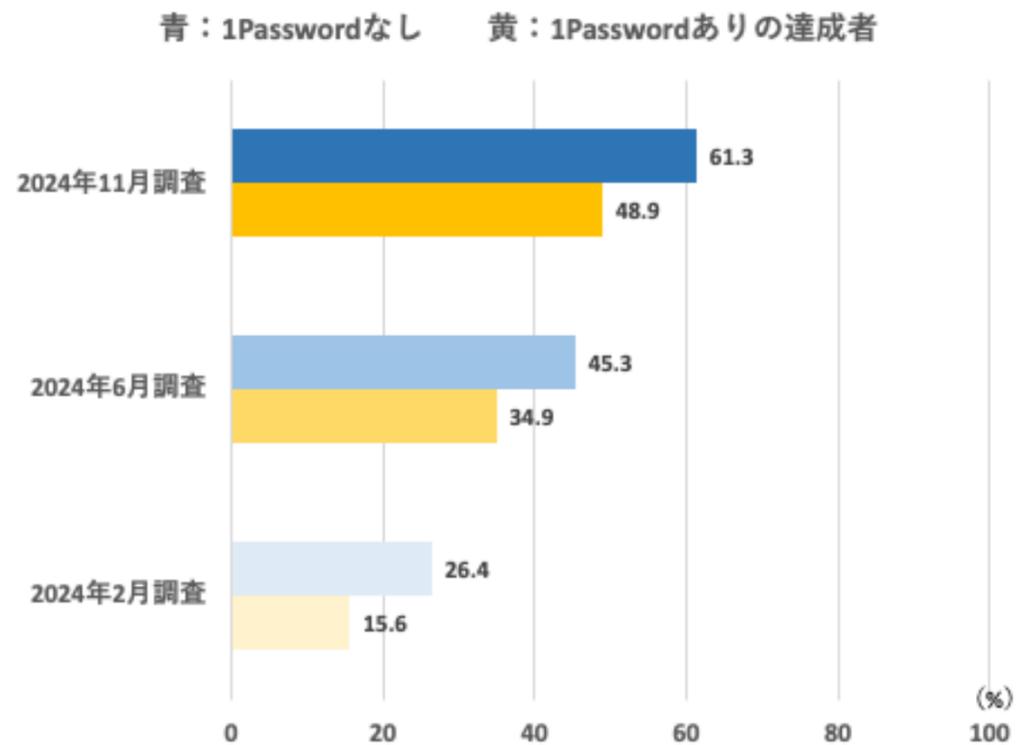
→2024年6月の意識調査で、貯蓄率20%以上が51.7%だったので、改善している

08

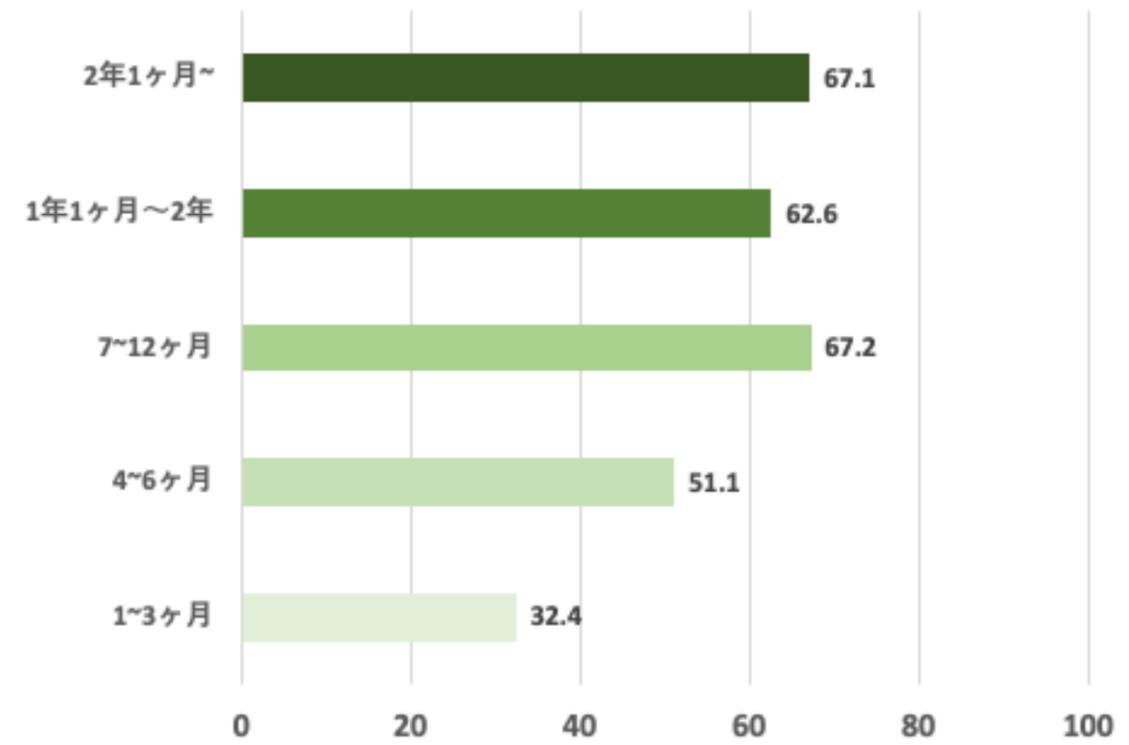
家計管理装備品（全て揃えているか）

● 2024年11月は、1Passwordが任意になってから初めての調査。1Passwordを入れたパターンと、入れないパターンで数値を計算。
 ※実践まで時間がかかるものもあるので、全て達成しているかどうかは「継続期間1ヶ月以上の会員」を対象に。

◆ 会員全体の結果



◆ 会員継続期間別の達成状況（こちらは1Passwordなし）



- 調査ごとに数値は改善していて、特に1Passwordなしだと「61.3%」が全ての装備品を揃えている（左のグラフ）
- 4ヶ月を過ぎると半数以上が、7ヶ月を過ぎると6割以上が装備品を揃えている（右のグラフ）

09

家計管理装備品：内訳

● 装備品ごとに達成状況を、会員期間ごとに確認

※1ヶ月未満は「よりアクティブなユーザーの数値」であることは留意

✓ 全体的に、継続期間が長くなるほど達成率はあがる

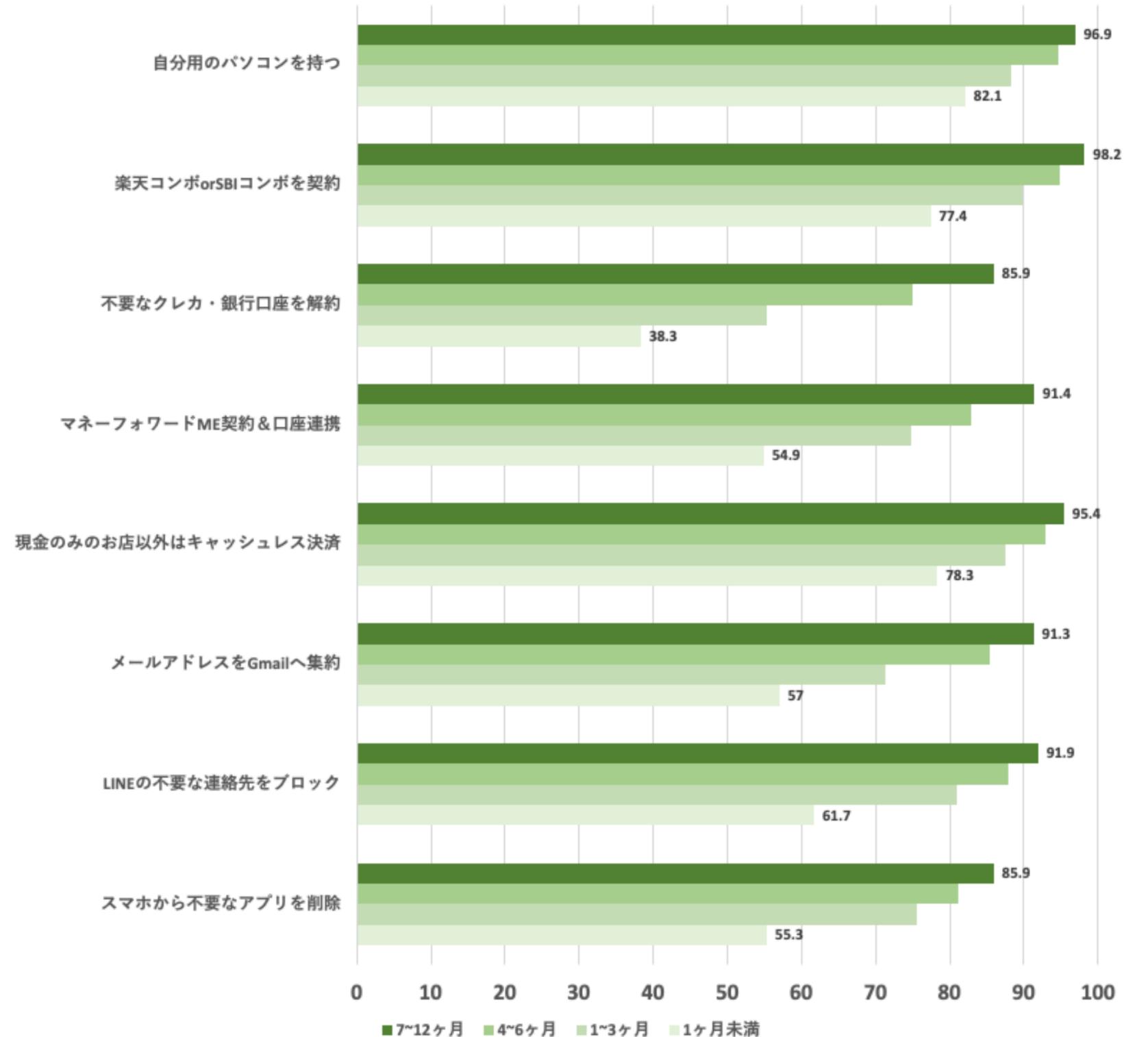
→「取り組めてない人が退会する」という要素も少なからずあるが、総じて「取り組みの成果」として数字にも出ている状況

✓ 不要なクレカ・銀行口座を解約が一番時間がかかっていて、達成率が80%を超えるまで、入会から半年以上かかる

※装備品周りについては、新しく入ってくる方向けのフォローは引き続き必要

※すでに達成している方向けには次のステップへ

継続期間別（1年以降はほぼ横ばいになるので割愛）

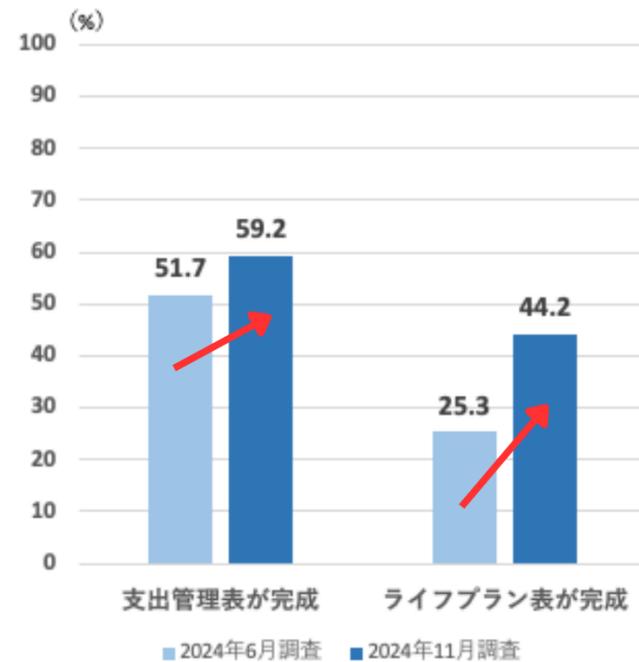


10

支出管理表と、ライフプラン表のデータ

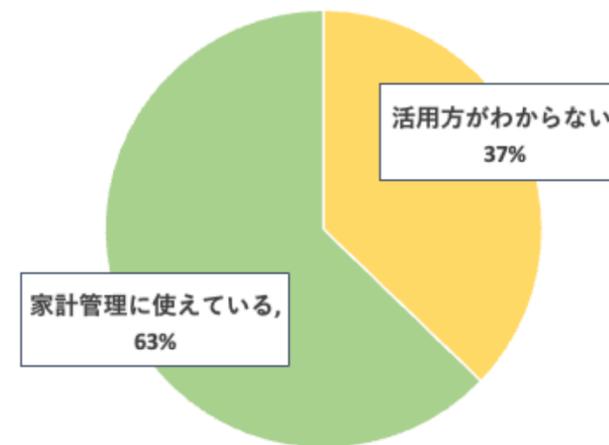
- 会員全体の結果として共有
- また、「作成したけど使いこなせてない」という声も散見されたため、実態を調査

◆ 前回調査との比較

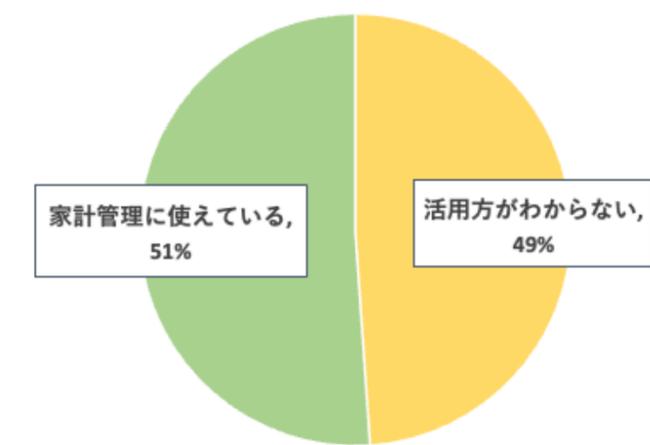


◆ 完成した人に限定して利用状況の実態をヒアリング

支出管理表の活用状況
(完成した人のみ)



ライフプラン表の活用状況
(完成した人のみ)



- **支出管理表は7.5%改善、ライフプラン表は18.9%改善**
→ ほぼ同時に作れる「公式シート」の配布によって、ライフプラン表の改善も目立つ結果となった
- 取り組んでいる最中という人も非常に多い（支出管理表作成途中：22%、ライフプラン表作成途中：22.4%）
- **支出管理表は37%が、ライフプラン表は49%が、作成したものの家計管理に活用できていない（活用法がわからない）と回答**